



みさごたより

Espresso Part 9

文責：永野
No.16



薩摩川内市立里小学校



世界は広い 広い視野を持とう！ 世界に羽ばたけ里っ子

これからの時代、英語は大切です！ (その2)

さて、今日は前の号の つづき です。が、その前に 少しでも パラオ と ヤップ のことをお話
 します。パラオもヤップも第一次世界大戦の後、スペインやドイツなどの国に代わり、日本が治め
 たところ。それまで軽く見られていた現地の方に対し、日本人は、水道や電気などを整備した
 り、学校や病院をつくったりして、現地の方の生活向上に努めたそうです。そのため、これらの国
 は、今でも親日なんです。日本の言葉も、現地言葉として残ったりしています。

【日本語】	お金	美味しい	混乱する	ビールを飲む
【パラオ語】	カネ	アジダ イョウブ	アタマグルグル	ツカレナオス



パラオはこういった島々がいっぱいです♪

またヤップ島には、石貨 といって大きな石のお金がいろいろな所
 どころにあります。その一つ一つには、多くの物語があり、すべて
 持ち主が決まっています、とても大事にしている文化なんです。では、

空港



で、ホテルから
の迎えも
なく、
(お金もない)



← こうなっている私に、
 一人の青年が話しかけてきました。
 「ワタシ、日本語、スコシワカルヨ・・・。」

「ココ、シマル・・・」「ムカエ、コナイヨ」私：ええ〜っ！ 青年の名は、ヤン さん と言いい、



台湾出身ということでした。彼は、英語が達者ですが、私は全然ダメ…
 (←ヤンさんと私)
 です。そこで、私のわずかな英語に彼の少しの日本語、さらには、台湾だ
 ったら 漢字 が通じる！ そう思って、漢字による筆談 (漢字を紙に書い
 ての会話) をふるに使う、状況がだいたい分かってきました…。

まず、彼は社会勉強のため、知り合いのお家にホームステイしながら、南の島々を旅しているとい
 うこと。そして、私たちが乗ってきた飛行機が最終便なので、空港が閉まってしまうということ。
 空港から街までは約 2 km で、私の宿はその街からさらに離れた別の村にあるということ。この島
 に両替所はなさそうだと。電話は島内無料だけれども、朝 9:00 過ぎないと電話は交換手
 がこないのをつながらないらしい?? まじですかあ〜 どうしよう・・・ 最悪の状況が分かっちゃい
 ました…。 本当に困っていると、ヤンさんと現地の人になにやら話をしていました。戻って来た
 彼が言うには、話の相手は別の宿の人で、彼の宿は街のすぐ近くで、格安で泊めるし朝には私の宿
 にも送ってくれるというのです。「どうする？」との問われ、アイハブノーマネー 50ドルオンリー み
 たいな訳の分からないこと言うと、彼が「OK! Let's go!」というので、車に乗りました。
 はたして、どうなるのでしょうか? 裏面へ つづく

空港を後にして、私たちは街外れの宿に到着しました。そして宿のロビーでヤンさんは、フロントのおばちゃんと話をしていました。「ノーハイ フライズ・・・ ダウン・・・」みたいな内容でしたから価格交渉してるの??? と思っていたら、彼が帰ってきて「後2時間で夜明けなのに1泊70ドルって

言ってるから、高いのもう一回話してくる!」ということでした。私 アウトサイド OKよ (“外で寝ても平気”と伝えたつもり?) けっきょく交渉決裂し、ヤンさんが言うには、外の駐車場の明かりの下で寝てもいいって(笑顔) まさか、まさかの初海外旅行(バック旅行なのに) 野宿!



ヤンさんと旅行バックを背に、外で私は寝ました。ヤンさんは私に気を遣ってか、起きて夜明けを待っていたようでした。日の出と共に、私たちは街へ移動しましたが、その途中

↓文化財の建物でも途中寝ました。



に会ったときも、「目を合わせないように。狂犬病リスクあるよ」など、とても気を遣ってくれました(やさしい)。その後どうなったのか???

街のホテルで電話を借りて、私の宿につながり宿主が、あわてて迎えに来たのが、午前10時頃。(現地の従業員を迎えにいかせたら、時間間違ってたらしく、キャンセル? と思って帰ってきていたらしい…。電話番号も宿、

間違っ私には教えていました…) さて、ヤンさんのその後ですが…

迎えに来て謝る宿主(日本人)に、私のことはもういいから、私の恩人をなんとかして とヤンさんが、頼ろうとしていた、日本人学校の先生宅に連れて行ってもらいました。ところが、年末だったためヤンさん断られてしまいます。そこで宿主は、現地の従業員の村だったら、年末年始泊めてくれると話を付けてもらい、ヤンさんとも笑顔で分かれしました。

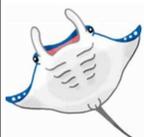
現地の方って、だいたい こんな感じ ↓ だけれど、ヤンさんだいじょうぶかな?? そう思

って、翌日彼の住んでいてもらいました。すると、んだとかで、現地の方とを運んでいました。顔色のような・・・ 本当だいじ



る村にダイビングの帰りに寄ってなんでも彼の住む部屋を作る彼の細い腕で切ったヤシの木もこころなしか、青ざめているようぶかな??

彼のその後のことは、日本に帰国してから、旅行代理店を通して知りました。なんでも、彼は現地の方にたいそう気に入られ、彼がいよいよヤップ島を離れるという時は、村人総出の見送りで空港は、おおにぎわいだったそうです。なんか、彼の人柄が伝わるようで、とてもうれしい気持ちになりました。いかがでしたか? 私の初海外旅行、英語ができればもう少しスムーズだったのかな? みんな世界にはいろいろな冒険がいっぱいです。ぜひ、広い視野を身に付け、世界をながめてみてください。1年生~3年生の教室には、使っていなかった地球儀を探してお置いてもらうようにしました。あと、6年生の廊下にも地球儀があります。



ころころ回して、パラオやヤップ探してみてくださいね。 おしまい

- * ヤップ島のマンタは水深2.3mのところを巨大円盤のように次々とやってきて、私の頭をなでるように泳いでいきました。
- * 広い視野の関連記事として薩摩の偉人、五代友厚 という人のことを学校便りに書きます。そちらも読んでくださいね。